

教務関係等諸注意事項（令和6年度 A1 ターム・A2 ターム）

(1) 令和6年度経済学部便覧及び経済学部履修案内について

【令和6年度経済学部便覧（以下「学部便覧」という。）】を熟読のこと。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/gakubu/gakububinran2024.pdf>

【令和6年度経済学部履修案内（以下「履修案内」という。）】を熟読のこと。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/gakubu/rishuinf2024.pdf>

【経済学部開講予定科目・授業担当者表の変更又は補足について（令和6年度）】を確認のこと。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/gakubu/henkou2024.pdf>

(2) 学生証及び通学定期乗車券購入証明書について

<学生証>

学生証の有効期間が満了している者等は、随時、経済学部教務チーム学部担当窓口にて交付。（古い学生証を持参すること。郵送不可。）

<通学定期乗車券購入証明書>

通学定期乗車券購入証明書の有効期間が満了している者については、随時、経済学部教務チーム学部担当窓口にて交付。（学生証を持参すること。郵送不可。）ただし、休学者を除く。

(3) 令和6年度年間スケジュール（予定）について

【履修案内：表紙の（裏）】を確認のこと。

(4) 各学科における卒業に必要な単位等について

【履修案内：5ページ目】を確認のこと。

- ・令和7年3月卒業予定者については、令和6年度のA1・A2またはA2等のA2（Wを含む。）にかかる「他学部科目(教職課程選択科目を含む)及びグローバル教養科目」の単位は卒業単位に算入されないので、十分注意すること。
- ・【履修案内：100～101ページ目】のとおり、令和7年3月の卒業決定者については、対象学生（令和7年3月をもって、休学期間を除き、在学期間が24月以上になる学生）の全てについて、判定を行うことになる。（卒業延期届を提出した場合であっても、令和7年3月の卒業決定者の判定を行うことになり、卒業要件を満たしている場合には卒業となる。）ただし、休学中の学生については、対象外となる。（手続きの詳細については、後掲（19）を参照のこと。）

(5) 「遠隔授業」の取得単位数・上限 60 単位の取扱いについて

【履修案内・6 ページ目】を確認のこと。

(6) 令和 6 年度授業日程について

[https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/academic\\_calender.pdf](https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/academic_calender.pdf)

・UTAS のスケジュールでは、「授業期間」と「試験期間」を区別して表記できない等、細かい設定ができないので、令和 6 年度授業日程については、上記 URL にて確認を行うこと。

(7) 令和 6 年度授業時間割について

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/jikanwari.html>

(8) 令和 6 年度経済学部における授業等の実施方針について

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/R6jissshihoushin.pdf>

<通常授業>

- ・すべての授業について、対面の授業を原則とする。
- ・ただし、A1 タームに駒場で開講する専門科目 1（マイクロ経済学 I・マクロ経済学 I・会計・経営・統計 I）については、対面の授業を原則とするが、A1 タームの第一週のみ Zoom によるオンラインで開講する。
- ・A2 タームに駒場で開講する専門科目 1 については、第一週から対面の授業を原則とする。
- ・通常授業の補足
  - －やむを得ない事情等により、授業実施形態が変更となる場合もある。
  - －経済学部以外の学部等が主開講の授業については、対応等が異なる場合があるので、当該主開講学部等の情報を確認すること。

<演習・少人数講義> ※経済学部学生のみ履修可。

- ・対面の授業とする。

<他学部授業>

- ・他学部授業の授業実施形態については、UTAS シラバス等、当該学部の情報を確認すること。  
(・経済学部以外の学部等が主開講の授業についても、UTAS シラバス等、当該主開講学部等の情報を確認すること。)
- －法学部、公共政策大学院の授業（法学部又は公共政策大学院が主開講となる経済学部との合併科目を含む）は、10月2日（水）からの開始となる。最新の情報は、次の URL にて確認を行うこと。  
法学部 <https://www.j.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/students/courses/>  
公共政策大学院 <https://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-bulletin-board/>

(9) 令和6年度履修登録期間及び履修登録修正期間について <期限厳守>

A1履修登録期間 10月1日(火)～10月14日(月)

A1履修登録修正期間 10月15日(火)～10月20日(日)

A2履修登録期間(Wタームを含む) 11月28日(木)～12月12日(木)

A2履修登録修正期間(Wタームを含む) 12月13日(金)～12月16日(月)

- ・【履修案内：7～11 ページ目】を確認のこと。
- ・UTAS (WEB 入力) により、各自で履修登録を行うこと。
  - －はじめに、履修登録期間内に、各自で履修登録を完了させること。続いて、履修登録修正期間において、各自で履修登録の状況の最終確認を行い、追加・削除等の変更がある場合には、当該履修登録修正期間内に、各自で履修登録の変更を行うこと。(履修登録修正期間以降は、UTAS による履修登録の追加・削除等の変更を行うことができなくなるので、十分注意すること。)
  - －必ず UTAS において、履修登録状況の最終確認を行うこと。(UTOL(UTokyo LMS)の「受講登録」のみを行い、UTAS の履修登録が完了していない場合、当該履修登録は行われていないことになるので、十分注意すること。)
  - －経済学部科目だけではなく、他学部科目についても、上記期間内に履修登録を行うこと。
  - －システム上の時間的誤差を意識して、上記期限より 15 分多めの期限を設定してはいるが、当該期限を 1 秒でも過ぎると履修登録ができなくなるので、上記の登録及び確認等については、時間的な余裕をもって、必ず上記期間内に完了させること。
- ・必ず、年間を通じた履修計画をたてた上で履修登録を行うこと。(特に、選択必修科目である専門科目 1、2、3、4 については、卒業に必要な単位が足りなくならないよう、十分注意すること。)

(10) 令和6年度A1ターム・A2タームプロアクティブ・ラーニング・セミナー募集について

- ・提出期限(監督教員宛て) 10月4日(金) <期限厳守>

- ・詳細については、UTAS (お知らせ掲示板) に掲出済みのこと。

掲載日時/2024/9/11 17:05:24

【経済学部】令和6年度(A1・A2)プロアクティブ・ラーニング・セミナーの募集について

- ・実施を許可されたプロアクティブ・ラーニング・セミナーの参加登録学生の履修登録(UTAS)は、セミナー・リーダー等の代表者が監督教員に提出する計画書に基づき(計画書に記載のある参加登録学生について)、教務チーム学部担当で行う。セミナー・リーダー等の代表者は、参加登録学生に絶対に漏れがないか最終確認の上、監督教員に提出すること。(計画書提出後、参加登録学生の追加は認められない。)

(11) 令和6年度卒業論文の提出期間・方法について

- ・**提出期間 令和7年1月6日(月)9:00～1月7日(火)正午 <期限厳守>**

- ・提出期間・方法等の詳細については、次の URL を確認すること。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/gakubu/sotsuron.html>

(12) 成績評価に係る疑義がある場合について

成績評価に疑義があり、明らかにそれが授業担当教員の誤りであると思われる場合のみ、成績発表日から1週間以内に所定の様式により教務チーム学部担当へ申し出ることができる。なお、3月または9月の卒業見込の4年生について、成績評価に疑義がある場合には、成績発表日から2日以内に教務チーム学部担当に申し出ること。詳細は後日、別途掲出を行う。

(13) 大学生活に必要な情報システムの準備について（新入生向け）

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/>

- ・サポート窓口については、次の URL を確認すること。

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/support/>

(14) 生成 AI（ChatGPT 等）関連情報

<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/online/topics/generative-ai>

(15) UTOL（UTokyo LMS）について

- ・設定された期限を 1 秒でも過ぎるとファイルのアップロードや入力ができなくなるので、提出（登録）完了・入力完了の状況まで必ず余裕をもって行うこと。併せて、設定された期限までに、アップロードや入力の状況の確認を行うようにすること。
- ・技術的な質問がある場合には、学生向けマニュアル等を再度確認の上、それでも解決できない内容に関しては、上記（13）サポート窓口に問い合わせること。

(16) 経済学部教務チーム学部担当の窓口業務時間について

窓口業務時間は、次の URL を確認すること。

<https://www.student.e.u-tokyo.ac.jp/>

(17) 経済学部における授業・行事日程及びその他、学生への周知事項について

経済学部における授業・行事日程及びその他、学生への周知事項は、基本的にはすべて UTAS に掲出することにより行うので、常に確認すること。なお、一部の情報については、経済学部 WEB サイト（WEB サイトの URL は上記（16）参照）にも掲載するので、参照すること。

(18) UTAS の現住所情報について

緊急時の連絡手段となるため、【UTAS ログイン>学生情報>学生情報参照>学生個人属性】の現住所情報の「住所」「携帯電話番号」「E-Mail 1（確認頻度が一番高い（毎日確認する）もの）」「E-Mail 2（確認頻度が二番目に高いもの）」等が最新の情報になっているか、常に確認するようにすること。最新の情報になっていない場合には、【UTAS ログイン>学生情報>現住所等変更入力】により、情報の更新を行うこと。併せて、各自のメールアドレスについて、UTAS 等からの電子メールを常に受信可能な設定にしておくこと。

(19) 令和6年10月1日以降の休学の願出について

【履修案内：100ページ目】を確認の上、**9月30日(月)17:00までに<期限厳守>**、経済学部教務チーム学部担当宛て、休学願（所定様式）を学部担当窓口で直接提出（窓口業務時間は上記（16）参照）もしくは電子メールにて提出すること。

- －事前に経済学部教務チーム学部担当に連絡・相談の上、休学願の様式を入手すること。
- －本来であれば、8月中を期限としているところであるため、次回以降は期限を厳守すること。
- －上記の通り、期限を延長しているが、当該期限以降の提出は受け付けることができなくなるので、十分注意すること。

【連絡先】

経済学部教務チーム学部担当

TEL 03-5841-5552

E-mail [gakubu.e@gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:gakubu.e@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

※メール等で問合せを行う場合には、必ず学籍番号と氏名を明記すること。